

議会 とよとみ

豊富町議会広報紙

3月定例会

[3月10日~16日]

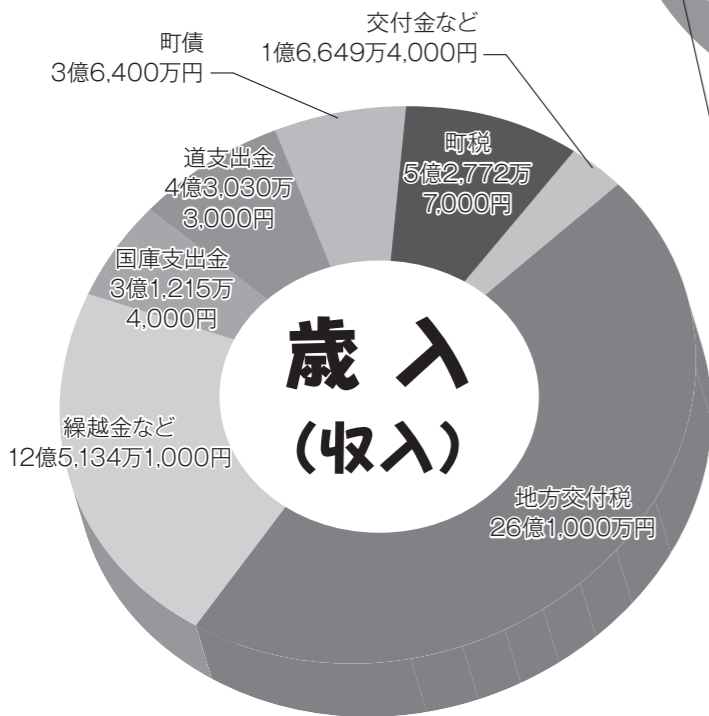
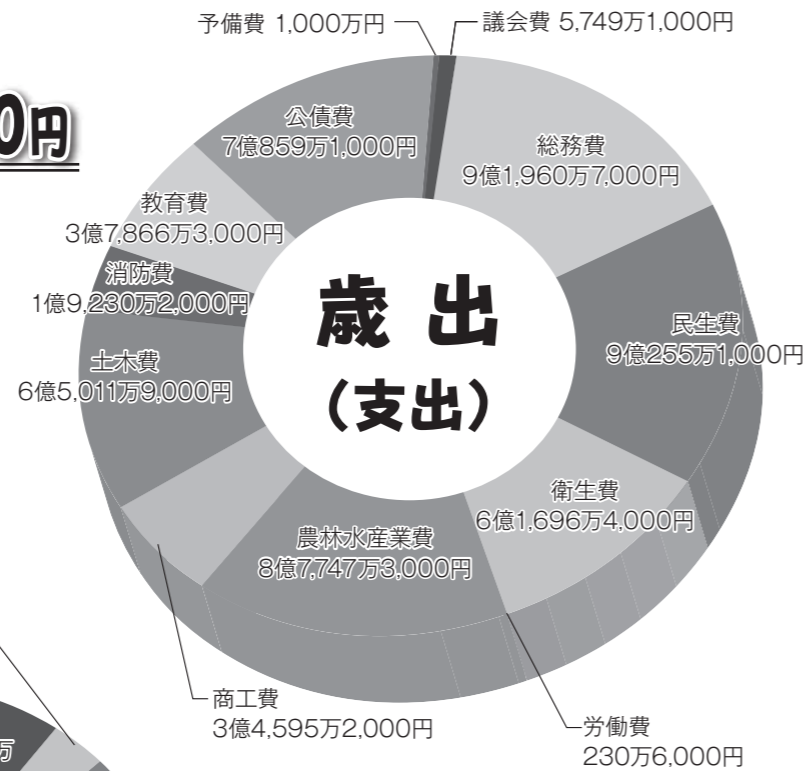
豊富町議会からのお知らせ

3月定例会特集	2
議会が町のコトチェック	4
一般質問	6
議会レポート	8
高校生の声、中学生の声	16

「議会とよとみ」はスマートフォンでも見られます



一般会計 56億6,201万9,000円 の内訳



用語の解説

〔歳入〕
町税 ▼住民税や固定資産税などの税金
町債 ▼事業を行うために借りたお金
国庫・道支出金 ▼事業に対して国や北海道から補助されるお金
地方交付税 ▼自治体の規模や人口などに応じて国から交付されるお金
繰越金など ▼前年度に繰り越したお金

〔歳出〕
総務費 ▼役場の維持管理・地域振興などに関するお金
民生費 ▼保育園、児童手当、高齢者、障がい者福祉などに関するお金
衛生費 ▼ワクチン接種、ごみ処理などに関するお金
土木費 ▼道路整備や除雪などに関するお金
公債費 ▼町債の返済に関するお金

令和5年度 一般会計骨格予算

56億6,201万9,000円を決定

こちらをご覧ください！

第1回定例会議事日程

1日目



2日目



3月定例会は、令和5年3月10日から16日まで開かれました。一般質問では1名の議員が登場し、出産一時金の創設についてや豊富保育園の保育料・給食費の減免、保育士確保の施策についてなど町長へ質問されました。

また、町長から提出された3件の条例制定、7件の条例改正、3件の指定管理者の指定、9件の補正予算、9件の新年度予算及び、議員から提出された1件の条例制定、1件の意見書については全て原案可決されました。

3月定例会のあらまし

Q. 骨格予算とは？

通常、町長は、1年間どのくらいの収入があって、どのようなことにお金を使っていくのかを予め計画し、3月定例会において「当初予算」を決定する必要があります。

しかし、町長が誰になるかによってお金の使い方が変わってしまうため、4月に町長選挙を控えている年は、最低限必要なお金だけを確認して、予算の骨組みを作る「骨格予算」を決定します。具体的には、毎年継続して支払っているものや緊急的に必要なものなど、必ず使う予算だけを確認して、町民皆様の生活に影響を及ぼさないように予算を編成しています。

▼各会計の予算

会計名	令和5年度当初予算額	令和4年度当初予算額	比較	伸率
一般会計	56億6,201万9,000円	51億8,994万6,000円	4億7,207万3,000円	9.1%
国民健康保険事業特別会計	6億1,037万円	6億2,187万6,000円	-1,150万6,000円	-1.9%
後期高齢者医療事業特別会計	6,610万7,000円	6,494万2,000円	116万5,000円	1.8%
豊富町国民健康保険診療所直診勘定特別会計	5億3,447万5,000円	5億7,883万4,000円	-4,435万9,000円	-7.7%
簡易水道事業会計	3億7,944万円	4億3,488万6,000円	-5,544万6,000円	-12.7%
公共下水道事業会計	3億6,410万6,000円	3億5,010万4,000円	1,400万2,000円	4.0%
介護保険事業特別会計	5億1,900万2,000円	5億1,480万9,000円	419万3,000円	0.8%
介護サービス事業特別会計	813万円	701万3,000円	111万7,000円	15.9%
ガス事業会計	6,710万6,000円	5,794万1,000円	916万5,000円	15.8%
合計	82億1,075万5,000円	78億2,035万1,000円	3億9,040万4,000円	5.0%



町長から提案された予算案等は、総務産業常任委員会・予算決算常任委員会で慎重に審議が行われます。「豊富町はどうなっている？ 私たちの税金はどんな」トに使われていくの？」委員会では、そんな疑問を解消するため議員から町の執行部へ様々な質問が投げかけられます。実際に行われた議員の質問と町の回答を一部ご紹介します。

地場産牛乳消費拡大事業

Q お年寄りや牛乳を必要としている人にも牛乳補助券を配布するべき

牛乳補助券の配布を18歳以下の子どもに限定して配布するのではなく、お年寄りなどにも配布できるように対象範囲を広げ、牛乳を必要としている方が利用できるように取り組む必要があると思います。

A 直営事業や社会福祉協議会の事業とタイアップして牛乳消費拡大を目指す

令和5年度より、町民検診に



られた方や、直営事業である「生涯現役塾」の開催時に参加された方へ牛乳を配布する。

また、社会福祉協議会で実施している、70歳以上の独居老人を対象とした「お楽しみ弁当」の配布時に牛乳も一緒に配布するなど、牛乳消費拡大に向けた取り組みを行う。

豊富町文化財保護条例

Q 文化財保護にかかる補助金の考え方は？

町指定文化財の保存による補助金の交付額が「予算の範囲内」と条例に記載されているが、予算の上限額など金額は明記されていない。保護に必要な金額を補正予算などで随時組むという事なのか。

A 補助金の交付額などを所有者へ事前に説明し意向確認を行う

指定する文化財によって金額が変動することから、補助金の予算額は条例に記載していないが、文化財を保護するために修理が必要になる場合があることや、修理に

伴う費用の補助金が全額交付されない場合があることなどを含め、所有者へ説明と意向確認を行い保護する文化財を決定する。

遺骨の埋葬に関するアンケート調査

Q 遺骨の埋葬に関する今後の考え方は？

町民を無作為選出し遺骨の埋葬に関するアンケート調査を行ったが、その結果を踏まえて今後はどのように進めていくのか。

A 合葬墓について理解を深めてもらえるよう啓蒙する

アンケート調査の結果から、合葬墓についてよく知らない方もいることが分かったため、まずは町民の方に合葬墓について啓蒙し、理解を深めていただくことが必要である。その後、合葬墓について熟知されてきたら、まちづくり懇談会などを通して町民の方と意見を交わして検討をする。

定住支援センター維持管理負担金

Q 定住支援センター維持管理負担金の増額理由は？

定住支援センターの維持管理負担金については年々上がっており、3年間で1千万円ほど増額されているがその理由は？

A 職員の昇給や電気料金の増額のため

指定管理により運営しているため、職員の昇給による増額の他、令和5年度については電気料金の増額に伴い負担金を増額している。

Q 負担金の見直しを検討すべき

住民サービスのための施設とは



空家促進空家リフォーム事業補助金

Q 町が率先して定住促進に向けた取り組みをすべき

この事業は、定住を望む個人がリフォームをしたものに対して補助を出しているが、町民が空家をリフォームして定住者への住宅を用意し、定住促進のための取り組みを行うべきである。

A 空き家だけではなく営業施設等活用した事業を検討する

定住促進に向けた取り組みとして、空き家だけを重視するのでは



いえ、負担金だけが徐々に増額し収入と釣り合わなくなってしまうように、負担金の増額については抑えていく必要があると思います。

A 維持管理にかかる経費の見直しを行う

維持管理にかかる経費の見直しをしながら、多くの方に利用していただけるよう検討する。

豊富町定住促進空家リフォーム事業補助金

Q 町が率先して定住促進に向けた取り組みをすべき

この事業は、定住を望む個人がリフォームをしたものに対して補助を出しているが、町民が空家をリフォームして定住者への住宅を用意し、定住促進のための取り組みを行うべきである。

A 空き家だけではなく営業施設等活用した事業を検討する

定住促進に向けた取り組みとして、空き家だけを重視するのでは

公衆浴場管理委託料

Q 公衆浴場の今後の運営について

公衆浴場については運営にかかる経費に見合った利用状況ではないと思うが、今後いつまで運営していくのか。

A 将来的には廃止し豊富温泉を利用していただくよう交通体系を整備する

町民の憩いの場となっている状況であるため、すぐに廃止することはないが、利用状況や建物等の経年劣化による課題もあるため、将来的には公衆浴場を廃止しながら、町内の交通体系を整備し公衆浴場を利用していただく方に豊富温泉を利用していただくよう進めていく。

議会とよとみ表紙写真募集中！

豊富町議会では、豊富町で撮影した写真及びメッセージを募集します。ご応募いただいた中から選定し「議会とよとみ」の表紙写真とさせていただきます。たくさんのご応募お待ちしております！

応募資格 豊富町の写真を撮影した方

募集内容 風景・人物問わず豊富町で撮影した写真と100文字以内のメッセージを募集します。笑顔になれる大人・子どもの写真や、心癒される風景写真などお待ちしております！
写真サイズはできるだけ大きく、JPG形式をお願いします。

募集期間 随時募集

応募方法 下記アドレスに、件名「議会とよとみ表紙写真」と記入し、本文にメッセージと連絡先（住所、氏名、電話番号）を記入の上、写真を送付してください。
gikaijimukyoku@town.toyotomi.hokkaido.jp



鎌倉 和雄 議員

出産一時金の創設及び豊富保育園の保育士確保施策及び保育料、給食費の減免について問う！

町長 国の動向や子育て世代の意見を聞き検討する

答 出産一時金については、現在国において検討されている子育て支援の動向も踏まえ、結婚、妊娠、子ども子育てなど総合的な観点から、子育て世代の皆様のご意見を伺い検討します。
保育士確保の施策については、令和3年に保育士人材確保条例を制定し、特別貸付金貸付制度などを設けるとともに、大学等への訪問などを行っておりますが、今後さらに安定した保育士確保を図るため、当町を知っていたいただけるよう各大学等と連携し、体験型観

議員 他の町村では出産一時金の制度がありますが当町にはなく、出産・育児には相当の資金が必要とされることから、当町においても出産一時金の創設が必要と思います。
また、当町の保育士の人数は、国の配置基準を満たしているものの、人員不足であると聞きます。未来を担う園児の保育には苦勞もあり、園児保育と多くの事務作業を両立するべく、町として保育士確保の施策を講じるべきと思います。さらに、保育園の保育料及び給食費については、保護者の負担軽減等から無料にすることで、この町に住みたいの思いや、ふるさと愛が生まれると思いますので、二期目を目指す町長の英断を伺います。

答 子育て支援というのは最重要課題として考えています。統一地方選挙後に再度舵取りをさせていただくことになれば、その時点で施策を進めていきたいと思っています。
また、給食費の減免については、保育園だけが良いのか、小中学校も含めるのか、今後考えていく必要があると思います。国の制度も透明な部分があるため検討しながら進めます。

議員 他町村で既に施策を実施しているのであれば、当町は対応が遅れていると思います。どのように進めていくのか具体的な考えを伺います。
光要素を盛り込んだ実習研修の取り組みなどを検討します。
また、豊富保育園の保育料の減免については、令和元年10月より3歳から5歳の全ての子どもが保育料が無償となり、0歳から2歳の子どものついては、所得割課税額等に応じて保育料を負担いただいております。給食費についても、所得割課税額等に応じて負担いただいておりますが、国や他の市町村の状況や子育て世代の皆様のご意見を伺い検討します。



答 次期の政策の中には、子育て支援を一丁目一番地として挙げております。給食費を無償化するなど具体的なことは記載しておりませんが、子育て支援の全体像を明記しておりますので、ご覧いただけたらと思います。
記載されているのか伺います。

議員が町政を問う



一般質問

一般質問とは？

議員が町の事務の執行状況や将来の方針について町長などに説明・報告を求め、町が町民のための適切な町政運営を行っているかを確認するものです。

今回は1名の議員から一般質問が提出されたのでご紹介します。

9番 鎌倉 和雄・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P7

- ・ 出産一時金の創設及び豊富保育園の保育士確保施策及び保育料、給食費の減免について

一般質問の全文が記載されている会議録は、出来上がり次第HPにて公開しておりますので、ぜひご覧ください。

HPはこちらから→
(議事結果等一覧)



議会の活性化に向けて

議員道内行政視察を実施

[参加議員 計8名]

- ・千葉久・大島憲昭
- ・鎌倉和雄・佐々木政義
- ・多々良勝・佐々木誠
- ・竹中隆浩・水戸部正博

令和4年10月18日から21日まで、議員行政視察として道内4市町村に伺い、5項目の事業等を視察及び見学いたしましたので、その様子をご紹介します。

議員の復命書は
こちらより閲覧できます！



当麻町役場へ訪庁



当麻町役場庁舎見学

当麻町では、旧庁舎の老朽化や耐震強化不足を受け、平成28年度より「当麻町新庁舎建設買取事業」を進め、平成30年度に新庁舎が完成しました。

この事業の特徴としては、全国でもあまり例がない「公募型買取式プロポーザル」を採用していること、そして、当麻町産材を100%を使用することにより建設に係る費用がかなり節約されています。

また、議事堂が多目的利用できるようなレイアウトであったり、質の高い行政サービスを提供できるように、執務室をワンフロア化するなど工夫が施されました。

本町の庁舎も建設から50年以上が経過し、建て替えの検討が今後必要であるため、本事業は非常に参考となりました。

▼ワンフロア化された執務室及び窓口



▼議事堂見学の様子



当麻町子育て総合センター見学

当麻町、比布町、愛別町、上川町の4町で構成された「上川中部福祉事務組合」が運営している「上川中部子ども通園センター」を見学しました。この施設では、親子で通いながら身近な地域で療育が受けられるほか、障がいのある方も地域で暮らしていけるよう総合的に支援を行っています。

一部事務組合として子育て支援を提供することで、事務の効率化や人員不足の解消、人件費削減等によるメリットを実感することができました。

▼当麻町子育て総合センター見学の様子



白老町役場へ訪庁

通年議会制について 学習

白老町議会では、「開かれた議会・信頼される議会」を目指して、議会改革に力を入れていきます。議会改革を進めるにあたり、町民より議員定数の削減について意見があげられたことにより、議員定数を20名から16名へ削減しました。これにより、議会のチェック機能の低下が危惧されますが、通年議会制を導入することで、議会の活動能力がない「閉会中の期間」を無くし、議会が主導的に活動できる制度を取り入れました。

当町では定例議会制を導入しているため、議会改革の一環として、通年議会制の導入は非常に参考となる事例でした。今後も、開かれた議会を目指し、議会改革の更なる発展に努めてまいります。

苫東ファーム株式会社を見学

国内最大規模のいちご栽培施設

苫東ファーム(株)では、平成26年度から農林水産省の「次世代施設園芸導入加速化支援事業」により、苫小牧市内で栽培面積4haに及び国内最大規模のいちご栽培施設を建設し運営しています。運営に伴い、木質チップボイラーを利用したエネルギー供給の工夫も施されていますが、チップの乾燥不足により十分に利用出来ないといった課題もありました。

当町では天然ガスが利用できることから、苫東ファーム(株)を参考に自然エネルギーの地産地消の実現に向けた、新たな事業の検討が可能であると思えます。

▼議事堂内での視察の様子



▼小西議会運営委員長よりご説明いただきました



▼収穫されたいちご



▼いちご栽培ハウス



家具工房～旅する木～を見学

廃校舎の利活用

当別町旧東裏小学校を家具工房として利活用し、100%オーダーで家具やキッチン等の製造販売を行っており、長年の思いを込めて作成した「木の車椅子」など、こだわりが詰まった作品を見学いたしました。

当町でも使用されていない校舎がありますが、企業誘致等を行い、廃校舎の有効活用を今後検討していくと共に、町の発展に努める必要があると思えます。

▼木で作られた車椅子



ウポポイ民族共生象徴空間を見学

アイヌ文化を学習

アイヌ文化に関する展示の見学やアイヌ民族の伝統芸能を鑑賞しました。私たちの貴重な文化でありながら存立の危機にあるアイヌ文化の復興と発展のために、伝統と共に未来へ継承する必要があることを学びました。

▼展示品見学の様子



議会レポート

[参加議員 計6名]
 ・千葉久・佐々木政義
 ・水戸部正博・小笠原照美
 ・竹中隆浩・鎌倉和雄

豊富高校生徒会 執行部と広聴会を 行いました!



令和4年12月5日に、豊富高校生徒会執行部より7名の生徒にご出席いただき、広聴会を行いました。

豊富高校生徒会執行部では、入学式や学校祭、新入生へ部活動の紹介を行う対面式など、学校内で開催される様々なイベントの運営を日々行っておりますが、近年、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、イベントの開催内容や保護者等の来場に制限が設けられてしまい、従来通りの開催とはなっていないものの、生徒会執行部を中心にコロナ禍でもできることを工夫し活動されていることをお聞きしました。

また、豊富高校への進学理由をお聞きしたところ、資格取得の幅が広いことや、遠隔授業配信センターの先生より質の高い授業を受けられること、学校給食があることなど、通学のしやすさを理由とした意見が多くあげられており、町内で進学をしたい子どもたちのために、学校存続に向けた取り組みを今後も町で継続していく必要があると感じました。

若い世代の方々が「豊富町で育って良かった」と思っていただけでも、広聴会でお聞きした意見や要望を町へ伝えてまいります。



感想 竹中 隆浩 議員

生徒会役員は自主的に立候補で選出され、広聴会の中でも皆さんとても積極的に意見や要望を伝えてくださいました。

豊富高校へ進学した理由をお聞きし、他校より多く資格取得が可能であり遠隔授業配信センターのレベルの高い遠隔授業を受けられる、家庭の経済面や学校給食についてなどが上げられました。

また、町の奨学金制度についてもお聞きし、「奨学金を借りられるのはありがたいが、将来のことを考えると返済できるのか不安であるため利用しづらい」といった意見も上げられました。

小中学生と交流する機会を増やし、豊富高校の魅力を伝えていただき、まだコロナウイルスは終息していませんが、学生生活でたくさん思い出を作ってほしいと思います。



町長へ活動報告書を提出しました!

3月16日に、広報広聴常任委員会の活動報告書を町長へ提出いたしました。

本書は、広聴会で町民の皆様から頂いた貴重なご意見や要望をまとめて作成しており、令和4年度は4団体・個人6名への聴き取りを実施することができました。

また、豊富高等学校と豊富中学校のご協力により、生徒が執筆した「高校生の声」・「中学生の声」が寄稿され、若い世代が抱く豊富町への想いや意見等を伺うことができました。

今後、皆様からの声を町執行部へ届けられるよう議会一同努めてまいります。

議会レポート

[参加議員 計2名]
・千葉久 ・佐々木政義



報告① 施設について

町民の憩いの場の創出を!

コロナ禍による感染防止対策として接触や密を避けるために、定住支援センターの一部の利用を制限している状況であるが、国では、ウイルスの特性の変化やワクチン接種の進捗に応じて、行動制限の緩和等が実施されてきた。

町民の憩いの場を創出する必要があることから、withコロナに適した施設運営を求めます。



電気自動車の充電スポット設置を求め!

日本政府においてガソリン自動車の規制改革が行われたことにより、電気自動車が国内で徐々に普及されているが、豊富町内には充電スポットがなく、電気自動車を常用している町民にとってはかなり不便な状況となっている。

電気自動車を使用する観光客は、充電スポットを目指して移動する場合もあり、観光客の増加も見込めることから、役場敷地内や豊富温泉街等に充電スポット設置の検討を求めます。



報告② 補助金等について

給付型奨学金の検討を!

豊富町修学資金貸付条例に基づき貸付を受けた者は、貸付期間終了から1年を経過した後に20年以内に償還しなければならぬと定められているが、就職をした翌年から償還を開始すると、貸付を受けた本人の給料は低く、生活が非常に厳しくなる。

また、学校を卒業し速やかに町内に就職をした場合は、償還を猶予することができるが、町内ではできないことや学べないこともあることから、学校を卒業後すぐに豊富町に就職できるとは限りず、償還に対して不安に思う声もあった。奨学金と言っても貸与であるため、給付型奨学金制度の検討を求める。



報告③ 酪農の振興について

農家同士が交流できる場の創出を求め!

豊富町は酪農が主要産業であるが、離農による農家戸数の減少から、農家同士での交流が少ないと感じる声が上がられた。農家が安心して酪農を続けるためには、補助金の支給のみならず、農家同士が支え合えるような交流の場を創出する必要がある。

町と関係機関が連携を取り、農家同士のつながりを絶やさないよう定期的なイベント等の開催について検討を求めます。



報告④ 高校生の声・中学生の声について

- ご寄稿いただいた中から一部ご紹介いたします。
- ・世界中の皮膚病患者へ豊富温泉を広めたい。
 - ・スポーツセンターだけでは思うように運動できないこともあるため、運動ができる施設を増やしてほしい。
 - ・サロベツ原野に生息する貴重な動物たちが絶滅しないように、豊富町の豊かな自然を守りたい。
 - ・町内に若者がリピートできるお店が増えたら良いと思う。

ご協力いただいた皆様、貴重なご意見をありがとうございました!

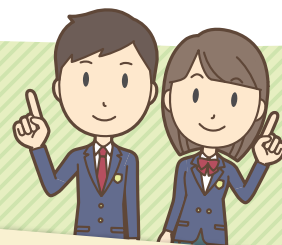
豊富町議会では、町民の皆様より多くのご意見をお聞きし、議会活動へ反映させていくため、「議会の出前懇談会」を随時募集しております。

皆様のお話をぜひ議員へお聞かせください!

詳しくはこちら

＼ 高校生の声 ＼

豊富町を住み続けたい町にするために



豊富高校3年生

工藤 良弘さん



私は生まれも育ちもこの豊富町で過ごしてきました。私はこの町が大好きです。とても自然が多く、穏やかな雰囲気、外にいただけでとても癒され、ストレスが無くなっていく気がします。自然が好きということもありますが、サロベツの自然の風景を活かした取り組みをしていけば、さらに魅力的な町になると思います。

あとは、商業施設や娯楽施設を建設することで、若年層の町民や観光客をひきつけることができると思います。この町は若者が楽しめる建造物が少ない、または無いと感じます。そのために町を離れる人も少なくないと思います。娯楽施設など楽しめるものがあれば、豊富町の活性化にもつながり、住み続けたい町に近づくのではないかと思います。

＼ 中学生の声 ＼

豊富町に一言！



豊富中学校3年生

白石 雪華さん

私は、豊富町地場産牛乳消費拡大事業の一環である牛乳補助券の交付について、受け取るか受け取らないかを選択制にし、枚数制限と年齢制限をなくすことを提案します。

その理由としては、配布されても牛乳を飲まないため、使わない人がいること、老若男女問わず牛乳を飲む人がいることなどです。牛乳を飲まない人に配布せず、その分、たくさん飲む人にたくさん配布すれば、より消費拡大に繋がると思います。さらに、現在は子どもを中心に配布されていますが、子どもでも牛乳を飲まない人はたくさんいるし、大人でも飲む人はたくさんいるので、年齢制限も必要ないのではないかと考えました。枚数制限は、一度に大量に持っていく人が出ないように、一度に最大何枚まで貰えるかを決めておいて、使い切ったらまた貰うようにすると良いのではないのでしょうか。

この提案を、みなさんはどう思いますか？



次回定例会は

6月です

(6月中旬開催予定)

議会を傍聴してみませんか



議員は議場でどんな発言をしているのか。どんなまちづくりを考えているのか。今後の町の方向性を直接聞くことができるいい機会です。ぜひ、お越しください。

豊富町議会広報誌
議会とよとみ 第243号

発行日/令和5年4月12日

発行責任者/議長 千葉 久

編集/広報広聴常任委員会

【豊富町議会事務局】

〒098-4110 北海道天塩郡豊富町大通6丁目

TEL 0162-73-1755 FAX 0162-82-2806